

西高ニュース 第167号



校訓

克己、協調、創造

県立伊丹西高等学校

住所：伊丹市奥畑3丁目5番地

TEL：072-777-3711

FAX：072-777-3712

HP：http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs

2年生 ヒューマン基礎「赤ちゃん先生」来校



10月29日(火) 2年生「ヒューマン基礎」講座において、NPO法人ママの働き方応援隊による、恒例の「赤ちゃん先生 ～育児体験～」が行われました。6月にも実施し今回は2回目です。久しぶりの対面ですが、どの赤ちゃんも大きくなりました。最初は先生(赤ちゃん)も慣れない雰囲気戸惑い気味でしたが、お母さんたちの優しい声掛けと、サポートのおかげで、徐々にお姉さんやお兄さんと打ち解けることができました。



「1本の鉛筆と1冊のノートをケニアに～私たちにできること～プロジェクト」 ご協力ありがとうございました



皆さんのおかげで、予想を大きく超えて多くの物資が集まりました。

集まった物資を梱包しやすいように整理するスタッフの皆さん。(右写真)と協力いただいたPTA・生徒の皆さん(左下写真)



西高ニュース第162号でもお知らせしましたが、伊丹西高校生徒会とボランティア部が中心になり実施している事業「『1本の鉛筆と1冊のノートをケニアに～私たちにできること～』プロジェクト」。予想を遙かに超えた多くの協力物資が集まり、このたび現地への発送作業を行いました。

当初の計画を超えての物資の発送に悩んでいたところ、多くの生徒達の思いを知り、是非力になりたいと、PTAの皆さんも発送資金にご協力をしていただくことになりました。学校、生徒、PTAと多くの広がりとその思いが現地の子どもたちの学びの力となり、国際交流の一步となるよう願ってやみません。ご協力いただいた生徒、PTAの皆さんありがとうございました。

第19回高校生フォーラム「17歳のメッセージ」奨励賞受賞

大阪経済大学が、毎年高校生の今の思いをメッセージにして表現した作品を募集し開催しているオリジナルエッセイのコンクール「第19回高校生フォーラム『17歳のメッセージ』」に本校2年生が「総合的な学習の時間」の取組として参加。このたび、2-20000さんが、全国約480校、3万4,609作品（過去最多）の中から奨励賞に選ばれました。フォーラムのテーマは（1）今までの自分、これからの自分（2）人工知能（AI）とどう向き合っていくか（3）今、これだけは言いたい！（自由課題）からいずれか1つを選んで400字程度（600字以内）のエッセイ（文体・形式は自由）に仕上げるモノです。この紙面では作品を掲載できませんが、9/30読売新聞大阪本社版紙上に発表されています。今後大阪経済大学HPでも公開されます。

令和元年度「税に関する高校生の作文」伊丹税務署長賞受賞

高校生が、学校教育の中で学習したことや自分自身の経験・体験などを通して、税について考えたことを作文の形で発表する「税に関する高校生の作文」。昭和37年度から国税庁が毎年実施しているものです。この作文に、本校生も応募し、このたび2-70000君が、見事、伊丹税務署長賞を受賞しました。平成30年度は全国1,810校から219,163編の作文が寄せられ、その中から優秀作品を厳選され、国税庁長官賞12編ほか、国税局長賞、税務署長賞が贈られます。今回も同様に、その中からの受賞です。

人権啓発標語 優良賞 受賞

伊丹市が人権意識の啓発を目的に毎年実施している人権啓発標語に、今年度本校の2-10000君の作品「気にしてる いじめといじりは 紙一重」が優良賞に選ばれました。11/1に伊丹アイフォニック・ホールで表彰式が行われました。

放送メディア部 県総文予選 3部門で入選！



11月3日（日）西宮香風高校を会場に第43回兵庫県高校総合文化祭放送文化部門の予選が開催されました。

この大会は放送部にとっての新人戦のような存在であり、今年度は県内の115校が参加し、アナウンス・朗読の技術やドラマやドキュメントなどの作品制作の出来を競います。

放送メディア部は3部門で入選し、11月16日（土）のいたみホールでの決勝への出場が決まりました。参加した各部門の結果は次のとおりです。

◎アナウンス小部門（190人参加・35人が入選）

入選 2年4組 0000（決勝進出）

◎朗読小部門（195人参加・35人が入選）

入選 1年4組 0000（決勝進出） 佳作 2年1組 0000

◎ラジオドラマ小部門（42作品参加・6作品が入選）

入選 「でも、私たちは」（制作代表：1年3組 0000）

◎DJ小部門（34作品参加・6作品が入選）

佳作 「草」（制作代表：2年1組 0000）

